

2022年5月10日

2022年度統計関連学会連合大会のお知らせ（第三報）

運営委員長	飯塚誠也	（岡山大学）
実行委員長	小森 理	（成蹊大学）
プログラム委員長	黒田正博	（岡山理科大学）

2022年度統計関連学会連合大会について、現時点での進捗状況をご報告いたします。今大会は 応用統計学会，日本計算機統計学会，日本計量生物学会，日本行動計量学会，日本統計学会，日本分類学会の6学会主催により開催されます。初日の9月4日（日）はチュートリアルセッションと市民講演会，2日目以降（9月5日（月）～8日（木））は一般講演や企画セッションなどを，現地および遠隔（オンライン）によるハイブリッド（ライブ）方式で開催する予定です。なお，新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては，完全オンライン開催になる場合もございます。この点をご承知おきください。

この第三報では，チュートリアルセッション，市民講演会，企画セッション，コンペティションセッションなどの概要を項目ごとにご紹介いたします。今後，連合大会のウェブページ

<http://www.jfssa.jp/taikai/2022/>

に関連情報や詳細情報を随時掲載していきますので，ご覧ください。

1. ハイブリッド開催に伴う変更事項のご案内

講演申込の期間については5月10日（火）から受付を開始しました。講演申込の詳細につきましては連合大会のウェブページをご確認ください。講演申込はConfitというWebシステムを使いますので，連合大会ウェブページから行ってください。（講演申込は6月1日（水）17:00 厳守，となります。）

2. 大会日程，開催場所，各種受付期間

大会日程	9月4日（日）：チュートリアルセッションと市民講演会 9月5日（月）～8日（木）：本大会
開催場所	成蹊大学
主催	応用統計学会，日本計算機統計学会，日本計量生物学会， 日本行動計量学会，日本統計学会，日本分類学会
講演申込	5月10日（火）11:00～6月1日（水）17:00 厳守

報告集原稿提出	6月6日(月) 11:00～6月24日(金) 17:00 厳守
事前参加申込(割引料金)	6月6日(月) 11:00～8月22日(月) 17:00 厳守
通常参加申込(通常料金)	8月22日(月) 17:00～当日 (密を避けるため、当日現地会場では受付しません。)

3. 講演の申込

講演には次の種類があります。

- ・一般講演
- ・企画セッション講演
- ・コンペティション講演

申込方法は、すべての講演に共通の事項と種類ごとに異なる事項があります。ご注意ください。

(1) すべての講演に共通の事項

講演をご希望の方は、連合大会のウェブページからお申し込みください。これ以外の申込方法はありません。申込ページでは、「一般講演」、「企画セッション講演」、「コンペティション講演」のいずれかを選択してください。原則として、申込は講演者が行ってください。ただし、「企画セッション講演」に限り、オーガナイザーが講演者に代わって申し込むことも可能です。

(2) 「一般講演」に関わる事項

通常の講演は「一般講演」として講演者がお申し込みください。ウェブページ上の講演申込手順にしたがって申込をしてください。プログラム編成の際の参考にしますので、関連分野を第一希望から第三希望までご選択ください。また、講演者(連名講演者を含む)のうち、少なくとも1名は主催6学会のいずれかの会員であることが要件です。

(3) 「企画セッション講演」に関わる事項

企画セッション講演者は、予めオーガナイザーから連絡を受けた整理番号に対応するセッションを申込ページの整理番号欄にて選択してください。例えば、整理番号が12であると連絡を受けた講演者は、「企画セッション講演 12」を選択してください。なお、企画セッション講演者(連名講演者を含む)については、主催6学会いずれかの会員であることを要件としません。

オーガナイザーが代理で申し込む場合は、それぞれの講演の申込を1件ずつお願いいたします。

(4) 「コンペティション講演」に関わる事項

コンペティション講演は、研究内容とプレゼンテーションの能力を競う企画です。参加資格は、次のいずれかの条件を満たす方です。

(a) 2022年4月1日時点で30歳未満の若手研究者（博士後期課程院生を含む）

(b) 講演時に学部学生や修士課程（または博士前期課程）院生（年齢は問いません）

上記(2)と同様に、関連分野を第一希望から第三希望までご選択ください。

連名講演の場合、コンペティション対象者は実際に口頭発表する方です。また、コンペティション対象者は、講演申込時に主催6学会のいずれかの会員でなければなりません。ただし、入会申請中の方も認めます。プログラム委員会から各学会事務局に会員照会し、会員（もしくは入会申請中）でないことが判明した場合は、コンペティションへのエントリーを取り消しますので、十分にご注意ください。

審査は、複数名の審査委員による5段階評価にもとづく投票で実施する予定です。選考はプログラム委員会で行います。審査では、研究内容とともに、研究発表のプレゼンテーションについても評価します。発表者が十分に準備・工夫し、充実したプレゼンテーションであることを期待しています。原則として、最優秀報告者1名、優秀報告者数名程度を選考します。

コンペティションセッションは、9月5日（月）～7日（水）（予定）にオンライン発表の形式で開催し、9月8日（木）に表彰式を行う予定です。なお、コンペティション応募総数は年々増加傾向にあり、プログラムを組むのが難しくなっています。したがって、今年度も申込順で受け付け、応募状況によってはコンペティション参加件数を制限することがあります。

(5) 講演言語の選択欄

講演申込のページの講演言語欄では、「日本語」、「英語」「日本語または英語のどちらでもよい」のいずれかを選択してください。

(6) 希望発表形式の選択欄

講演申込のページの希望発表形式欄では、「オンライン」、「現地」、「オンライン・現地のどちらでもよい」のいずれかを選択してください。

4. 講演報告集用原稿の提出

(1) 「一般セッション講演」、「コンペティション講演」に関わる事項

報告集用の原稿はA4サイズで1ページです。インターネット経由で電子ファイル(PDF

形式)を提出していただきます。「2. 大会日程, 開催場所, 各種受付期間」を参照の上, 原稿提出期間を厳守してください。

(2) 「企画セッション講演」に関わる事項

原則として, 講演者が提出してください。書式・提出期間等は, 上記(1)と同じです。オーガナイザーが代理で提出する場合は, セッション内の各講演について, 上記(1)と同様にして1件ずつ原稿を提出してください(「2. 講演の申込 (3)「企画セッション講演」に関わる事項」も参照)。その場合, オーガナイザーは, 期限内に原稿を提出できるようなスケジュールで講演者に原稿作成・提出を依頼してください。詳細は, 別途オーガナイザーに送付している資料等をご参照下さい。

(3) すべての講演に共通の事項

講演種別にかかわらず, ご希望の方は, 報告集用原稿とは別に, ウェブページに掲載する詳細論文を受け付けます(A4サイズ, 最大10ページまで, PDF形式, ファイルサイズは1MB以内, フォント埋め込み)。詳細論文ファイルを上記(1)と同じタイミングで提出していただきます。報告集用原稿および詳細論文の執筆要領については, 連合大会ウェブページ(<http://www.jfssa.jp/taikai/2022/>)をご覧ください。

(4) その他

オンライン参加を申し込んだ方には, 大会当日までに講演報告集を郵送にてお届けする予定です。

【注意】

講演報告集は, 本大会ウェブページにて公開予定です。公開を希望しない場合には, 報告集用原稿の提出時に, その旨をご指示ください。

5. 企画セッションのご案内

学会や個人等から申請のあった28件の企画セッションが予定されています。整理番号, テーマ名, オーガナイザーの氏名・所属は以下の通りです(編成都合で分割したセッションがあり, 件数より番号が多くなっています)。各テーマのねらいや講演者・講演タイトルなどについては, 後日連合大会のウェブページに掲載される情報をご参照ください。

なお, 企画セッションの運営はオーガナイザーに一任していますので, テーマについてのお問い合わせは, 各オーガナイザーにお願いいたします。企画セッションの日程はプログラム作成時に決定いたします。

(整理番号), テーマ名 (セッション名), オーガナイザー (敬称略, 所属は申込情報より)

- (01) デモンストレーションセッション (飯塚誠也 (岡山大))
- (02) 日本統計学会各賞授賞式・日本統計学会各賞受賞者記念講演 (1) (大森裕浩 (東京大))
- (03) 日本統計学会各賞授賞式・日本統計学会各賞受賞者記念講演 (2) (大森裕浩 (東京大))
- (04) 統計数理研究所医療健康データ科学研究センター「医療統計学のフロンティア」
(松井茂之 (名古屋大・統数研), 伊藤陽一 (北海道大病院), 田栗正隆 (東京医大))
- (05) 応用統計学会企画セッション「カーネル型推定の最近の発展」 (前園宜彦 (中央大))
- (06) 状態空間モデリング研究の展開 (菅澤翔之助 (東京大))
- (07) 「建設工事受注動態統計調査」問題を受けて - 公的統計の改善に必要なものとは? -
(肥後雅博 (東京大))
- (08) 「統計改革」の新天地 (肥後雅博 (東京大))
- (09) 2022 JSS-KSS-CIPS Joint Session for Young Researchers (各務和彦 (名古屋市立大))
- (10) 2022 JSS-KSS-CSA Joint Session (1): Computational Statistics (各務和彦 (名古屋市立大))
- (11) 2022 JSS-KSS-CSA Joint Session (2): Complex Data Analysis (各務和彦 (名古屋市立大))
- (12) 2022 JSS-KSS-CSA Joint Session (3): Machine Learning (各務和彦 (名古屋市立大))
- (13) 深層生成モデルによる時系列モデリング (樋口知之 (中央大), 中村和幸 (明治大))
- (14) 大規模データにおける匿名加工とプライバシー保護の新たな展開 (佐井至道 (岡山商科大), 星野伸明 (金沢大), 伊藤伸介 (中央大))
- (15) JJSDセッション (各務和彦 (名古屋市立大), 菅澤翔之助 (東京大))
- (16) 非対称分布の理論と応用 (吉羽要直 (東京都立大))
- (17) 日本計量生物学会奨励賞受賞者講演 (安藤友紀 (医薬品医療機器総合機構), 川口淳 (佐賀大), 五所正彦 (筑波大), 田栗正隆 (東京医大), 長谷川貴大 (塩野義製薬))
- (18) 応用統計学会 学会賞受賞者講演 (南美穂子 (慶應義塾大), 姫野哲人 (滋賀大))
- (19) 企業における統計学の実践と新たな展開 (南美穂子 (慶應義塾大), 黒木学 (横浜国立大), 廣瀬慧 (九州大))
- (20) 地震ビッグデータ解析の最前線 (長尾大道 (東京大), 加藤愛太郎 (東京大), 矢野恵佑 (統数研))
- (21) アジアの公的マイクロ統計の活用 (馬場康維 (統数研))
- (22) 日本計量生物学会40周年記念シンポジウム「計量生物学の発展と今後の展開」 (安

- 藤友紀 (医薬品医療機器総合機構), 川口淳 (佐賀大), 五所正彦 (筑波大), 田栗正隆 (東京医大), 長谷川貴大 (塩野義製薬))
- (23) 諸分野に向かう統計・数理・データ科学 (林邦好 (京都女子大), 宮路智行(京都大), 中野直人(明治大))
 - (24) Society 5.0 の実現に向けた統計教育に関する動きと課題 (竹内光悦 (実践女子大), 藤井良宜 (宮崎大), 渡辺美智子(立正大))
 - (25) 公的統計マイクロデータ利活用の現状と課題 (南和宏 (統数研), 伊藤伸介 (中央大), 高部勲 (立正大))
 - (26) 日本計算機統計学会企画セッション「計算機集中手法の最前線」 (中村永友 (札幌学院大))
 - (27) 生存時間解析・イベントヒストリー分析 (江村剛志 (久留米大))
 - (28) 統計エキスパート人材育成 -多様な分野での統計活用へ (1) (中西寛子 (統数研))
 - (29) 統計エキスパート人材育成 -多様な分野での統計活用へ (2) (中西寛子 (統数研))

6. プレナリーセッション, チュートリアルセッション, 市民講演会について

プレナリーセッション 赤池メモリアルレクチャー賞

日 時: 2022年9月5日 (月) 午後【オンライン講演】

オーガナイザー: 二宮嘉行 (統計数理研究所)

<赤池メモリアルレクチャーについて>

故赤池弘次博士は「赤池情報量規準 (Akaike Information Criterion: AIC)」を提唱し, 予測の視点に基づき従来の統計理論とは異なる新しい統計モデリングのパラダイムを確立して広範な研究分野に大きな影響を及ぼしたことで知られています。その功績を記念して, 統計数理研究所と日本統計学会は2016年度に「赤池メモリアルレクチャー賞」を創設しました。統計数理研究所と日本統計学会により, 2年に1度受賞者が選出され, 記念講演が行われます。

市民講演会

今回の市民講演会では、Women in Data Science (WiDS)で御活躍中の小野陽子先生に、世界規模の大きな問題に対し Data Science が担う役割について御講演して頂けることになりました。

日 時：2022年9月4日（日） 13:00～14:00【ハイブリッド講演】

タイトル：世界はDSでできている～考える葦と多様性～

講演者：小野 陽子氏（横浜市立大学, WiDS TOKYO@YCU アンバサダー）

概要：

気候変動、生物のみならず文化の多様性喪失、感染症、飢餓、水問題・・・地球規模で、人間を含む、特に弱い立場の全ての生き物に深刻な影響が及んでいます。生き物社会とその場としての地球環境の持続可能性に関係するすべての問題の背後にはデータがあり、「考える葦」は対処法のみならずあるべき姿を考えなければなりません。多様で心豊かな未来を「データ思考」する際に常に心得るべきことは何か、事例を通じて共に考えましょう。

チュートリアルセッション

今回のチュートリアルセッションでは、生態学の分野で御活躍中の深谷先生、伊東先生に最近御出版された「生態学のための階層モデリング—RとBUGSによる分布・個体数量・種の豊かさの統計解析—」（Marc Kéry, J. Andrew Royle 原著，共立出版）についてご講演いただけることになりました。

日 時：2022年9月4日（日） 14:30～17:30（休憩時間を含む）【ハイブリッド講演】

テーマ：生態学における階層モデルの応用

オーガナイザー：小森 理（成蹊大学）

講 師：深谷 肇一氏（国立環境研究所）

伊東 宏樹氏（森林総合研究所）

概要：

本講演では、「生態学のための階層モデリング—RとBUGSによる分布・個体数量・種の豊かさの統計解析—」（共立出版）の内容に基づき、生態学分野における統計モデリングの最新の話題を紹介します。

野生生物集団の動態を理解することは生態学の主要な問題であり、また生物多様性の保全においても重要です。そのためには、ある環境に生息する個体の数や種数を正確に把握することが必要ですが、野外ではこうした数量を直接測定できない場合が少なくありません。特に、生態調査では生息個体を完全に検出することが難しい（見落としが起こりうる）ことが多く、個体数や種数の評価を困難なものにしています。

本講演では、こうした不完全な検出を考慮して、直接的な測定が難しい生物集団特性（分布、個体数量、種の豊かさ）を推定するための統計モデリング手法を取り上げます。不完全な検出の問題を統一的に扱うためのアプローチとして、潜在変数を含む階層モデルに着目します。関心のある生態学的変動と厄介な検出誤差を区別するために、生態過程と観測過程の両方を明示的に表現した様々な階層モデル（サイト占有モデルや N 混合モデルなど）を説明します。また、こうした階層モデルによる推測を、JAGS や Stan を含むいくつかのソフトウェアを用いて行う方法を紹介します。

本講演で扱う話題は生態学分野のものに限られますが、本講演で取り上げる統計モデリングのアプローチは、直接的な測定が難しい対象を扱う他分野でも役立つかもしれません。幅広い方にご参加いただけるよう、講演では生態研究に固有の背景や文脈も分かりやすく整理して説明します。

7. 参加申込と大会参加費

参加登録については大会ウェブページからの申込のみとなります。密の回避のため現地での参加申込受付は致しません。円滑な大会の運営のためにも、また参加費割引のためにも、事前参加申込をご利用ください。受付期間は、「2. 大会日程、開催場所、各種受付期間」を参照してください。事前参加申込の場合、参加費が大幅に割引になりますのでぜひご利用ください。

大会参加費（報告集代を含む）

	事前参加申込	通常参加申込
会員（主催 6 学会の会員）	7,000 円	10,000 円
学生（会員・非会員を問わず）	3,000 円	8,000 円
学生以外の非会員	15,000 円	20,000 円

チュートリアルセッション参加費（資料代を含む）

	事前参加申込	通常参加申込
会員（主催 6 学会の会員）	3,000 円	4,000 円
学生（会員・非会員を問わず）	2,000 円	3,000 円
学生以外の非会員	6,000 円	8,000 円

懇親会参加費

現在、調整中です。追って、Web ページにてアナウンスいたします。

【注意】

- (1) 講演申込をされた方も参加申込の手続きが必要です。
- (2) これまでの大会と同様に、事前申込のキャンセルと変更は認められません。大会に参加されなかった場合、報告集などの資料送付のみとなります。
- (3) 主催6学会の会員以外の方が、企画セッションや特別セッションでオーガナイザーから依頼されて講演される場合、大会参加費は無料となります。
- (4) 市民講演会は無料です。
- (5) 報告集およびチュートリアルセッション資料の（追加）購入は、参加登録のページからお申し込みください。
- (6) 昨年度と同様に、参加の方法の「オンライン参加」の注意事項は連合大会のウェブページにてご案内いたします。また、発表者の方には、チュートリアル・市民講演会の開催日（9月4日（日）、予定）にテスト会場を準備する予定となっておりますので、ご利用ください。

8. 宿泊・アクセス案内

今大会では宿泊の斡旋はいたしません。各自で早めに宿泊の予約をお済ませください。大会会場の成蹊大学へは、

JR 中央線・総武線 (東京メトロ東西線) 京王井の頭線	【吉祥寺駅】下車
	吉祥寺駅より徒歩約15分 吉祥寺駅北口バスのりば1・2番より 関東バス約5分『成蹊学園前』下車
西武新宿線	【西武柳沢駅】下車
	西武柳沢駅南口より 関東バス（吉祥寺駅行）約15分『成蹊学園前』下車

です。大会会場へのアクセスについてはウェブページ

<https://www.seikei.ac.jp/university/aboutus/accessmap.html>

もご覧ください。

9. 託児施設の利用案内

本大会では、託児施設を利用される場合予算内にてその費用を補助する運びとなりました。本大会に対面参加し託児所利用費の補助を希望される方は、以下の(1)~(3)の手続きを行ってください。

手続きに必要な託児所利用補助申請書と託児費用申請書は、大会ウェブサイト内の「宿泊・観光」ページでダウンロード可能です。

- (1) 8月21日(日)までに託児所利用補助申請書を下記の担当にメールにてお送りください。
- (2) 託児所の選定・予約は、各自で行ってください。
- (3) 9月16日(金)までに託児費用申請書と領収書(原本)を申込・問い合わせ先の担当に郵送してください。

申込・問い合わせ先

担当: 2022年度統計関連学会連合大会実行委員会

E-mail: jikkou2022(at)jfssa.jp (at)を@に置き換えてください。

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

なお、予算の関係上、全額の補助ができない場合がありますので、ご了承の程お願いいたします。